

Overview

| | |
|---------------------|----|
| 経営理念 | 03 |
| みずほリースグループの軌跡 | 05 |
| みずほリースの事業と強み | 07 |
| みずほリースグループの価値創造プロセス | 09 |
| トップコミットメント | 11 |



Business Strategy

| | |
|-----------|----|
| 全体戦略メッセージ | 25 |
|-----------|----|



| | |
|-----------------|----|
| 注力分野の状況 | |
| 医療・ヘルスケア | 30 |
| 不動産 | 31 |
| 環境・エネルギー | 32 |
| グローバル | 33 |
| 航空機 | 34 |
| アライアンスパートナーとの協業 | 35 |
| CFOメッセージ | 37 |

Our Value Creation

| | |
|-----------------------|----|
| みずほリースのサステナビリティ推進体制 | 17 |
| みずほリースのマテリアリティ | 18 |
| マテリアリティの取り組み | |
| 1 脱炭素社会実現への貢献 | 19 |
| 2 健康で豊かな生活への貢献 | 20 |
| 3 生活を支える社会基盤づくりへの貢献 | 21 |
| 4 循環型経済の牽引 | 22 |
| 5 テクノロジーによる新しい価値の創出 | 23 |
| 6 あらゆる人が活躍できる社会・職場づくり | 24 |



Sustainability

| | |
|-----------------|----|
| ステークホルダーの方々とともに | 39 |
| 環境・社会への取り組み | 41 |
| 人材戦略メッセージ | 46 |
| 人材戦略取り組み | 47 |
| ワークライフバランス | 48 |
| 健康経営 | 51 |
| コーポレート・ガバナンス | 52 |
| 社外取締役座談会 | 59 |
| マネジメント一覧 | 63 |

Data Section

| | |
|---------------|----|
| 財務・非財務ハイライト | 65 |
| 10カ年財務サマリー | 67 |
| 事業状況・経営成績等の分析 | 69 |
| 事業等のリスク | 71 |
| 連結財務諸表 | 73 |
| 会社概要 / 株式情報 | 77 |

読者の皆さまへ

みずほリースグループの「過去」と「現在」を示すことで強みや特徴、実績を明らかにし、これらを土台として 当社グループが 目指す「未来」の姿を示しました。
ステークホルダーの皆さまとの共創による「持続的な価値創造」を目指す私たちの取り組みを、より一層ご理解いただける構成を目指しています。

統合報告書 2022と関連性の高いウェブサイト



サステナビリティ

<https://www.mizuho-ls.co.jp/ja/sustainability.html>

主な掲載コンテンツ

- みずほリースグループのサステナビリティ
- メッセージ
- サステナビリティへの取り組み
- サステナブルファイナンスの活用
- 環境との関わり
- 社会との関わり
- 社員との関わり



IR

<https://www.mizuho-ls.co.jp/ja/ir.html>

主な掲載コンテンツ

- トップメッセージ
- 財務・業績・格付情報
- 株主・株式情報
- ディスクロージャー・IR方針
- IRライブラリー
- 中期経営計画



サービス

<https://www.mizuho-ls.co.jp/ja/service.html>

主な掲載コンテンツ

- メッセージ
- サブスクリプション
- 事業提携・共同投資
- スタートアップ連携
- グループ会社を通じたソリューション
- 注力分野



会社情報

<https://www.mizuho-ls.co.jp/ja/company.html>

主な掲載コンテンツ

- トップメッセージ
- 経営理念
- みずほリースとは
- ガバナンス
- 会社概要
- 沿革



編集方針

本誌は、ステークホルダーの皆さまにみずほリースグループの事業活動をよりよくご理解いただくために、財務情報のみならず、経営戦略、環境、社会、ガバナンス等の非財務情報をあわせて掲載しています。本誌の編集にあたっては、国際統合報告評議会(IIRC)が発行する「国際統合報告フレームワーク」等のガイドラインを参照し、当社グループの中長期的な価値創造について、わかりやすくかつ簡潔な説明となるように努めています。

コミュニケーションツールの構成



報告対象期間

2021年4月から2022年3月まで (一部、期間外の活動を含みます)

報告対象範囲

みずほリースグループ全体を対象としています。

見通しに関する注意事項

本誌には、作成時点で入手している情報に基づき判断した経営方針や将来的な業績に関する記述が含まれていますが、一定のリスクや不確実性が含まれており、その達成を約束する趣旨のものではありません。将来に関する事項についてはさまざまな要因により、実際の結果と大きく異なる可能性がありますのでご留意ください。